

# *Prime Life* REPORT

投資型ユニバーサル保険

*Prime Life*

自由定期付積立型新変額保険

vol. **253**

2025年2月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。

「投資型ユニバーサル保険 Prime Life」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社の自由定期付積立型新変額保険の商品名です。  
「投資型ユニバーサル保険 Prime Life」には専用の特別勘定グループが設定されています。



東京海上日動あんしん生命

## ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

### ■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

#### ご注意

今後お払い込みいただく保険料の繰入先ファンドと割合を変更いただくには、「繰入割合の変更」のお手続きも必要です。

### ■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	世界株式CA	会社受付日の翌々営業日
	日本株式FA	会社受付日の翌営業日
	日本株式BA	
総合型	アセット・アロケーションSA	会社受付日の翌々営業日
	世界バランスDSA	
債券型	世界債券ヘッジMA	
	世界債券MA	
金融市場型	マネー・プールB	会社受付日の翌営業日

### ■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

#### ●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 15：29まで <sup>*1</sup> に受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：30以降 <sup>*2</sup> に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

(注) 土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

\*1 2024年11月5日より、東京証券取引所の取引時間延長に伴い、14：59⇒15：29に変更になりました。

\*2 ※1同様の理由から、15：00⇒15：30に変更になりました。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

(※) ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

#### ●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

種類	特別勘定の名称	掲載ページ
株式型	<b>世界株式CA</b> ■ 投資対象となる投資信託：キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1* <sup>1</sup> <input type="checkbox"/> 運用会社：キャピタル・インターナショナル <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率)* <sup>3</sup> ：0.77%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約438.3億円	3p
株式型	<b>日本株式FA</b> ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3* <sup>1</sup> <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率)* <sup>3</sup> ：0.968%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約1,389.6億円	4p
株式型	<b>日本株式BA</b> ■ 投資対象となる投資信託：日本株式インデックス・ファンドVA1* <sup>2</sup> <input type="checkbox"/> 運用会社：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率)* <sup>3</sup> ：0.275%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約11.9億円	5p
総合型	<b>アセット・アロケーションSA</b> ■ 投資対象となる投資信託：さわかみファンド <input type="checkbox"/> 運用会社：さわかみ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率)* <sup>3</sup> ：1.10%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約4,129.6億円	6p
総合型	<b>世界バランスDSA</b> ■ 投資対象となる投資信託：大和住銀グローバルバランスファンドSVA <input type="checkbox"/> 運用会社：三井住友DSアセットマネジメント <input type="checkbox"/> 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド, ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率)* <sup>3</sup> ：1.078%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約7.2億円	7p
債券型	<b>世界債券ヘッジMA</b> ■ 投資対象となる投資信託：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり) <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率)* <sup>3</sup> ：0.528%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約38.4億円	8p
債券型	<b>世界債券MA</b> ■ 投資対象となる投資信託：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし) <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率)* <sup>3</sup> ：0.528%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約16億円	9p
金融市場型	<b>マネー・プールB</b> ■ 投資対象となる投資信託：特に定めません <input type="checkbox"/> 運用会社：特に定めません <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率)* <sup>3</sup> ：金利情勢、投資対象とする短期金融商品によって変動します。	10p

※残高は2024年11月末現在

\*1 適格機関投資家専用

\*2 適格機関投資家限定

\*3 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

## ● 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】 2003年12月1日
- 【資産分類】 世界株式
- 【運用方針】  
日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。
- 【投資対象となる投資信託】  
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

### ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	246.56	-
2024年 1月31日	331.84	4.72%
2月29日	347.61	4.75%
3月31日	357.02	2.71%
4月30日	356.89	-0.04%
5月31日	369.12	3.43%
6月30日	381.38	3.32%
7月31日	366.55	-3.89%
8月31日	356.53	-2.73%
9月30日	363.90	2.07%
10月31日	379.16	4.19%
11月30日	373.19	-1.57%
12月31日	382.36	2.46%
2025年 1月31日	387.95	1.46%
3ヶ月変化率		2.32%
6ヶ月変化率		5.84%
1年変化率		16.91%
3年変化率		57.35%

\* ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
\* 前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	39,534	2.5%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・ グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	1,569,315	97.5%
その他	-	-
資産合計	1,608,849	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,608,849	100.0%

## ● 投資対象となる投資信託について

### キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 (適格機関投資家専用) の基本情報

- 【運用会社】 キャピタル・インターナショナル
- 【運用対象】 日本を含む世界主要国の株式など
- 【ベンチマーク】 MSCI-World Index

### 運用状況

#### ■ 国別・地域別内訳※ (2025.1末現在)

国名	ベンチマーク	ポर्टフォリオ	ポर्टフォリオ
	構成比	構成比	銘柄数
北米	76.5%	54.5%	112
アメリカ	73.6%	53.5%	106
カナダ	3.0%	0.9%	6
欧州・中近東	15.6%	30.2%	53
イギリス	3.5%	5.9%	12
フランス	2.7%	9.8%	14
スイス	2.3%	2.2%	6
ドイツ	2.3%	3.9%	7
オランダ	1.1%	1.8%	2
ノルウェー	0.1%	0.0%	0
その他	3.7%	6.6%	12
アジア・オセアニア	7.9%	8.3%	24
日本	5.3%	5.9%	18
香港	0.4%	1.1%	3
その他	2.2%	1.3%	3
その他地域	-	3.0%	7
キャッシュ他	-	4.0%	-
合計	100.0%	100.0%	196

#### ■ 業種別内訳※ (2025.1末現在)

業種	ベンチマーク	ポर्टフォリオ
	構成比	構成比
情報技術	24.9%	19.7%
資本財・サービス	10.7%	18.2%
金融	16.5%	14.2%
ヘルスケア	10.6%	12.2%
一般消費財・サービス	11.3%	8.8%
コミュニケーション・サービス	8.5%	7.0%
生活必需品	6.0%	5.1%
公益事業	2.4%	3.9%
エネルギー	3.7%	3.3%
素材	3.3%	2.8%
不動産	2.1%	0.6%
キャッシュ他	-	4.0%
合計	100.0%	100.0%

#### ■ 組入上位10銘柄※ (2025.1末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 ブロードコム	アメリカ	情報技術	3.3%
2 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.0%
3 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.9%
4 アップル	アメリカ	情報技術	2.5%
5 台湾セミコンダクター・ マニュファクチャリング	台湾	情報技術	2.2%
6 サフラン	フランス	資本財・サービス	2.1%
7 ノボ ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.0%
8 JP モルガン・チェース	アメリカ	金融	2.0%
9 SAP	ドイツ	情報技術	1.8%
10 GEエアロスペース	アメリカ	資本財・サービス	1.6%

※ 構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

2025年1月の世界の株式市場は、現地通貨ベース、円ベースともに上昇しました。現地通貨ベースで同市場を見ると、前半は米国の雇用統計の発表を受けて景気の底堅さが意識され、利下げ観測が後退するなかで軟調な動きが続きました。後半は米国でインフレの鈍化傾向が確認されたことや、米新政権の政策姿勢が懸念されていたほど強硬ではないと受け止められたことなどから、上昇に転じました。セクター別では、情報技術を除くすべてが上昇する展開となり、金融やコミュニケーション・サービスの上昇率が比較的高くなりました。  
当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・ファンド・グローバル・エクイティ・マザー・ファンドを通じてキャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は+0.83%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) における運用に関しては、セクター別では情報技術や一般消費財・サービスにおける銘柄選択などがプラスに寄与した一方、コミュニケーション・サービスやヘルスケアにおける銘柄選択などはマイナスに寄与しました。国別では米国の銘柄選択などがプラス要因となったのに対し、スイスの銘柄選択などはマイナス要因となりました。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life (自由定期付積立型新変額保険) の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life (自由定期付積立型新変額保険) は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式FA (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

【投資対象となる投資信託】

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	208.07	-
2024年 1月31日	252.79	4.93%
2月29日	263.69	4.31%
3月31日	272.03	3.16%
4月30日	265.15	-2.53%
5月31日	268.09	1.11%
6月30日	275.97	2.94%
7月31日	272.51	-1.26%
8月31日	262.44	-3.69%
9月30日	270.77	3.18%
10月31日	263.17	-2.81%
11月30日	260.04	-1.19%
12月31日	272.24	4.69%
2025年 1月31日	267.25	-1.83%

3ヶ月変化率	1.55%
6ヶ月変化率	-1.93%
1年変化率	5.72%
3年変化率	28.44%

\*ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

\*前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2024.12末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.2%
東証スタンダード	1.6%
東証グロース	0.4%
その他市場	-
現金・その他	1.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比(2024.12末現在)

業種	構成比
1 電気機器	19.2%
2 銀行業	9.8%
3 輸送用機器	8.0%
4 小売業	6.5%
5 サービス業	6.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソニーグループ	電気機器	4.5%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
3 日立製作所	電気機器	4.0%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.5%
5 リクルートホールディングス	サービス業	3.4%
6 伊藤忠商事	卸売業	3.3%
7 キーエンス	電気機器	2.9%
8 東京海上ホールディングス	保険業	2.7%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
10 KDDI	情報・通信業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 170)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

当月の東京株式市場は、トランプ米政権による関税強化策や先端半導体の需要減速への警戒感などから、上値が重い展開となりました。トランプ政権の政策不透明感や内外金利の上昇が投資家心理を圧迫する中、日銀正副総裁の発言を受けて次回金融政策決定会合での利上げ観測が高まり、円高が進行したことなどから、月半ば過ぎまでは株価の軟調な推移が続きました。トランプ氏が米大統領に就任した後、対中関税の即時発動が見送られたこと、また米国で人工知能(AI)を規制する方針が転換され、AI開発の巨額投資が期待されたことなどを背景として、株価は上昇に転じました。日銀による利上げの影響は限定的となる一方、中国の新興企業が低コストで高性能な生成AIモデルを開発したことが報道されると、先端半導体の需要減速が警戒され、半導体関連株が売られる展開となりましたが、月末にかけては決算発表が本格化する中で好業績銘柄への買いが入り、底堅い推移となりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+0.14%、日経平均株価は-0.81%でした。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日  
 【資産分類】 日本株式  
 【運用方針】  
 東証株価指数（TOPIX）採用銘柄を中心に分散投資を行い、TOPIXの動きに連動する投資成果を目指します。  
 【投資対象となる投資信託】  
 日本株式インデックス・ファンドVA1

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	180.38	-
2024年 1月31日	245.30	6.68%
2月29日	259.13	5.64%
3月31日	268.40	3.58%
4月30日	261.91	-2.42%
5月31日	265.58	1.40%
6月30日	272.00	2.42%
7月31日	267.87	-1.52%
8月31日	261.99	-2.19%
9月30日	268.71	2.56%
10月31日	264.80	-1.46%
11月30日	262.90	-0.72%
12月31日	273.91	4.19%
2025年 1月31日	271.58	-0.85%
3ヶ月変化率		2.56%
6ヶ月変化率		1.38%
1年変化率		10.71%
3年変化率		50.56%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	4,051	1.7%
有価証券等		
日本株式インデックス・ファンドVA1	228,466	98.3%
その他	-	-
資産合計	232,517	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	232,517	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### 日本株式インデックス・ファンドVA1 <適格機関投資家限定>の基本情報

【運用会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ  
 【運用対象】 日本株式  
 【ベンチマーク】 TOPIX（配当金込）

### 運用状況

#### ■上位5業種構成比 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	17.37%
2 銀行業	8.88%
3 輸送用機器	7.40%
4 情報・通信業	7.38%
5 卸売業	6.33%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位20銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.88%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.07%
3 ソニーグループ	電気機器	2.91%
4 日立製作所	電気機器	2.52%
5 リクルートホールディングス	サービス業	2.15%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.95%
7 キーエンス	電気機器	1.65%
8 任天堂	その他製品	1.58%
9 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.40%
10 東京エレクトロン	電気機器	1.36%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

銘柄名	業種	構成比
11 伊藤忠商事	卸売業	1.25%
12 東京海上ホールディングス	保険業	1.22%
13 三菱商事	卸売業	1.19%
14 三井物産	卸売業	1.18%
15 ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.14%
16 日本電信電話	情報・通信業	1.12%
17 信越化学工業	化学	1.07%
18 HOYA	精密機器	1.01%
19 三菱重工業	機械	0.99%
20 第一三共	医薬品	0.99%

#### ■主要指標 (2025.1末現在)

	ポートフォリオ
銘柄数	1,692
β値*	1.00
推定トラッキング・エラー (年率)*	0.01%

\*対ベンチマーク

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# アセット・アロケーションSA (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日  
【資産分類】アセット・アロケーション  
【運用方針】  
国内外の株式等を主要投資対象としますが、投資対象には特に制限を設けず、積極的かつ長期スタンスの運用により円ベースでの資産の成長を目指します。  
【投資対象となる投資信託】  
さわかみファンド

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	16,875	1.7%
有価証券等		
さわかみファンド	964,618	98.3%
その他	—	—
資産合計	981,494	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	981,494	100.0%

### ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	208.36	—
2024年 1月31日	255.32	5.04%
2月29日	268.19	5.04%
3月31日	276.90	3.25%
4月30日	270.46	-2.33%
5月31日	274.74	1.58%
6月30日	278.00	1.19%
7月31日	270.58	-2.67%
8月31日	261.93	-3.20%
9月30日	271.09	3.50%
10月31日	265.35	-2.12%
11月30日	259.26	-2.29%
12月31日	265.71	2.49%
2025年 1月31日	261.83	-1.46%
3ヶ月変化率		-1.32%
6ヶ月変化率		-3.23%
1年変化率		2.55%
3年変化率		25.67%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### さわかみファンドの基本情報

【運用会社】さわかみ投信  
【運用対象】国内外の株式、債券  
【ベンチマーク】特に定めません。

### 運用状況

#### 市場別構成比 (2025.1末現在)

市場	銘柄数	構成比
東証プライム	122	85.12%
東証スタンダード	6	0.60%
東証グロース	5	0.16%
その他国内市場	0	—
外国市場	11	3.72%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

#### 銘柄数 144 (2025.1末現在)

#### 上位10業種構成比 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 機械	16.84%
2 電気機器	14.35%
3 化学	12.10%
4 精密機器	6.92%
5 輸送用機器	6.51%
6 小売業	5.85%
7 食料品	5.50%
8 ガラス・土石製品	3.75%
9 ゴム製品	2.66%
10 サービス業	2.37%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。  
※業種は東証33業種分類による。

#### 組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ディスコ	機械	4.14%
2 信越化学工業	化学	3.75%
3 テルモ	精密機器	3.29%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	2.82%
5 セブン&アイ・ホールディングス	小売業	2.72%
6 プリダストン	ゴム製品	2.66%
7 ダイキン工業	機械	2.63%
8 三菱重工業	機械	2.37%
9 日立製作所	電気機器	2.36%
10 INPEX	鉱業	2.23%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

皆さまのさわかみファンドは基準価額39,000円台前後でもみ合う展開でした。トランプ第2次政権は良くも悪くも米国金融史の大きな1ページだろうと眺めていました。冷静にみれば、就任式前の過激な発言は用意周到な市場へのアナウンスでした。就任式以降の大統領令はほぼ織り込み済みで株式市場に大きな混乱はありませんでした。いさか強引にトランプ政権閣僚は固められましたが、意外にしたたかなのかも知れません。結論としては、私たちは過剰に振り回される必要もなく、さわかみファンドが目指す世の中に無くてはならない企業の探索と応援に集中します。  
今月の当社アナリストチーム（ファンドマネージャー含む）はインドへ詳細調査に向かいました。組入企業の実地工場見学を軸に、インドの実体経済のうねりを体感し体験知性を磨いてきたようです。少し間が空きますが4月中旬の長期投資だよりでご報告いたします。  
新年に入り、当社は経営理念「本格的な長期投資で世の中をおもしろくしていこう」を具現化すべく行動を起こしました。この月次レポートが皆さまのお手元に届く頃には、「一般財団法人さわかみ未来創造研究所」設立についてご紹介できると幸いです。お楽しみに。(1月28日)

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界バランスDSA (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】バランス

【運用方針】

日本を含む世界各国の株式および公社債に分散投資を行い、中長期的な資産の成長を目指します。株式と債券の基本資産配分比率は6:4とします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

大和住銀グローバルバランスファンドSVA

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	268.38	-
2024年 1月31日	316.24	2.89%
2月29日	329.30	4.13%
3月31日	338.59	2.82%
4月30日	335.15	-1.02%
5月31日	346.29	3.32%
6月30日	357.49	3.24%
7月31日	341.37	-4.51%
8月31日	329.25	-3.55%
9月30日	334.70	1.66%
10月31日	344.40	2.90%
11月30日	342.43	-0.57%
12月31日	353.42	3.21%
2025年 1月31日	352.16	-0.35%
3ヶ月変化率		2.25%
6ヶ月変化率		3.16%
1年変化率		11.36%
3年変化率		31.22%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	6,093	2.3%
有価証券等		
大和住銀グローバルバランス ファンドSVA	259,348	97.7%
その他	-	-
資産合計	265,441	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	265,441	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### 大和住銀グローバルバランスファンドSVAの基本情報

【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント

(投資顧問) ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド、

ティール・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク

【運用対象】日本を含む世界各国の株式および公社債

【ベンチマーク】MSCIワールド・インデックス (円換算)：60%、

FTSE世界国債インデックス (円換算)：40%

### 運用状況

#### ■資産構成 (2025.1末現在)

ファンド名	構成比
インターナショナル株式マザーファンド	56.7%
グローバル債券マザーファンド	36.5%
日本株マザーファンド	4.0%
短期金融資産等	2.8%

※各マザーファンドへの投資割合

#### ■インターナショナル株式 組入上位10銘柄

(2025.1末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.7%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.5%
3 ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	3.8%
4 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	3.8%
5 META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.7%
6 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	3.5%
7 APPLE INC	アメリカ	情報技術	3.3%
8 CONOCOPHILLIPS	アメリカ	エネルギー	2.8%
9 UNILEVER PLC	イギリス	生活必需品	2.7%
10 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合  
(銘柄数 70)

#### ■グローバル債券組入上位10銘柄

(2025.1末現在)

銘柄名	国名	構成比
1 UK GILT 4.25 12/07/27	イギリス	8.6%
2 US TREASURY N/B 4.5 12/31/31	アメリカ	7.6%
3 FRANCE OAT. 2.75 02/25/29	フランス	5.6%
4 US TREASURY N/B 4 11/15/52	アメリカ	5.2%
5 372 10年国債	日本	4.2%
6 US TREASURY N/B 3.25 06/30/29	アメリカ	4.1%
7 BUONI POLIENNALI DEL TES 3.35 07/01/29	イタリア	3.7%
8 BUNDESobligation 2.1 04/12/29	ドイツ	3.7%
9 US TREASURY N/B 4.375 05/15/34	アメリカ	3.5%
10 UK GILT 4.5 06/07/28	イギリス	3.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合  
(銘柄数 26)

#### ■日本株組入上位10銘柄

(2025.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソフトバンクグループ	情報・通信業	5.9%
2 めぶきフィナンシャルグループ	銀行業	5.2%
3 古河電気工業	非鉄金属	4.5%
4 川崎重工業	輸送用機器	4.4%
5 富士通	電気機器	3.8%
6 住友林業	建設業	3.3%
7 九電工	建設業	3.3%
8 東京海上ホールディングス	保険業	3.2%
9 日本ハム	食料品	3.2%
10 信越化学工業	化学	3.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合  
(銘柄数 43)

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



# 世界債券ヘッジMA (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

【投資対象となる投資信託】

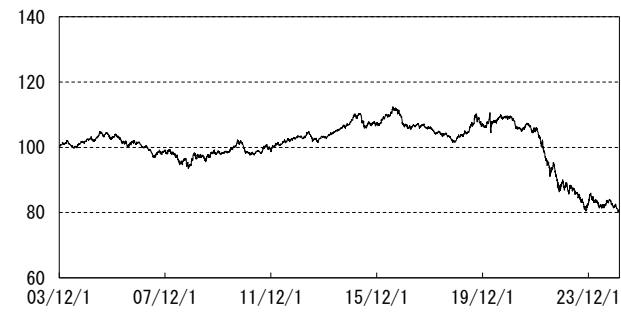
JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1,238	1.4%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)	88,566	98.6%
その他	—	—
資産合計	89,804	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	89,804	100.0%

### ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	102.96	—
2024年 1月31日	84.21	-1.97%
2月29日	83.14	-1.28%
3月31日	83.61	0.57%
4月30日	81.46	-2.57%
5月31日	81.28	-0.22%
6月30日	81.95	0.83%
7月31日	82.55	0.73%
8月31日	83.25	0.85%
9月30日	83.47	0.27%
10月31日	82.03	-1.73%
11月30日	82.14	0.14%
12月31日	81.15	-1.21%
2025年 1月31日	80.75	-0.49%
3ヶ月変化率		-1.55%
6ヶ月変化率		-2.17%
1年変化率		-4.11%
3年変化率		-21.57%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）

### 運用状況

#### 国別通貨別構成比率 (2025.1末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.6%	45.8%	-0.3%
カナダ	1.8%	1.6%	0.1%
メキシコ	0.7%	1.0%	0.1%
日本	10.0%	9.7%	98.5%
オーストラリア	1.1%	0.8%	0.0%
ニュージーランド	0.2%	—	—
シンガポール	0.3%	0.6%	0.1%
中国	10.4%	9.8%	0.3%
マレーシア	0.5%	0.5%	0.6%
インドネシア	—	0.1%	0.0%
ユーロ	26.5%	34.3%	0.3%
英国	4.6%	4.6%	0.1%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.1%
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.1%

#### 組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.00%	2029/7/31	4.2%
2 日本国債	0.10%	2031/9/20	3.5%
3 フランス国債	—	2025/2/25	2.3%
4 アメリカ社債	1.875%	2027/4/27	2.3%
5 アメリカ特殊債	6.00%	2025/2/13	2.2%
6 フランス国債	2.75%	2030/2/25	1.9%
7 アメリカ国債	4.25%	2026/12/31	1.5%
8 ドイツ国債	2.20%	2034/2/15	1.4%
9 イタリア国債	3.00%	2029/8/1	1.3%
10 中国国債	2.68%	2030/5/21	1.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 277）

修正デュレーション=平均6.69年（ベンチマーク=同6.86年）

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界債券MA (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	2,552	1.8%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	139,540	98.2%
その他	—	—
資産合計	142,092	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	142,092	100.0%

### ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	127.97	—
2024年 1月31日	134.14	0.89%
2月29日	135.26	0.84%
3月31日	137.07	1.33%
4月30日	136.85	-0.16%
5月31日	138.87	1.47%
6月30日	142.28	2.45%
7月31日	139.32	-2.07%
8月31日	134.95	-3.14%
9月30日	137.05	1.56%
10月31日	139.56	1.83%
11月30日	137.54	-1.45%
12月31日	140.65	2.26%
2025年 1月31日	137.92	-1.94%
3ヶ月変化率		-1.17%
6ヶ月変化率		-1.00%
1年変化率		2.82%
3年変化率		7.77%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

### 運用状況

#### 国別通貨別構成比率 (2025.1末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.6%	53.2%	45.7%
カナダ	1.8%	2.5%	1.8%
メキシコ	0.7%	0.9%	0.7%
南アフリカ	—%	—%	0.0%
日本	10.0%	11.1%	10.0%
オーストラリア	1.1%	1.1%	1.1%
ニュージーランド	0.2%	—%	0.2%
シンガポール	0.3%	0.5%	0.4%
中国	10.4%	10.2%	10.3%
マレーシア	0.5%	0.5%	0.5%
インドネシア	—%	0.1%	0.0%
ユーロ	26.5%	29.3%	24.3%
英国	4.6%	4.8%	3.9%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.2%

#### 組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.00%	2029/7/31	5.1%
2 日本国債	0.10%	2031/9/20	3.9%
3 アメリカ特殊債	6.00%	2025/2/13	2.2%
4 アメリカ国債	3.375%	2033/5/15	2.2%
5 アメリカ国債	4.375%	2034/5/15	2.1%
6 フランス国債	2.75%	2029/2/25	2.0%
7 日本国債	0.60%	2033/12/20	1.9%
8 アメリカ国債	4.125%	2026/10/31	1.6%
9 アメリカ社債	3.75%	2031/4/1	1.6%
10 フランス国債	2.75%	2030/2/25	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 225）

修正デュレーション=平均6.96年（ベンチマーク=同6.86年）

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# マネー・プールB (2025年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 短期金融商品

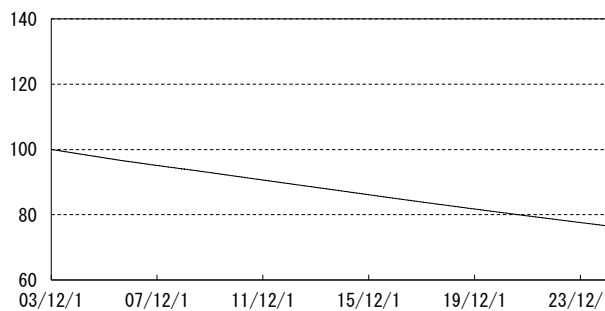
【運用方針】

円建ての預貯金、短期金融商品を中心に投資を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【投資対象】

短期金融商品

### ■ ユニットプライスの推移



### ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	46,609	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	46,609	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	46,609	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	79.46	—
2024年 1月31日	77.42	-0.11%
2月29日	77.34	-0.10%
3月31日	77.25	-0.11%
4月30日	77.17	-0.11%
5月31日	77.09	-0.11%
6月30日	77.00	-0.11%
7月31日	76.92	-0.11%
8月31日	76.83	-0.11%
9月30日	76.75	-0.11%
10月31日	76.67	-0.11%
11月30日	76.59	-0.11%
12月31日	76.50	-0.11%
2025年 1月31日	76.42	-0.11%
3ヶ月変化率		-0.33%
6ヶ月変化率		-0.65%
1年変化率		-1.30%
3年変化率		-3.83%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

※マーケットの先行きが著しく読みにくい局面等で資金を一時的に待避させる目的でご利用ください。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る死亡保険金額、満期払戻金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、満期払戻金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■保険期間中に必ずご負担いただく費用

項目	費用
保険契約管理費	特別勘定の純資産総額に対して年率1.3%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.10%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。
危険保険料	月単位の契約応当日の前日の危険保険金額に危険保険料率を乗じた額(危険保険料)
死亡保障関係費	月単位の契約応当日の前日の危険保険金額に対し0.01%/月

\* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

### ■特定の取引の場合にご負担いただく費用

項目	適用	費用
保険契約関係費	月単位の契約応当日の前日末の積立金額が100万円未満の契約	毎月…250円
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.3%
解約控除費用	契約日から解約控除対象期間内に解約・減額・一部引出したとき	積立金および危険保険金に対して、所定の解約控除率を乗じて算出した金額

### ■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険契約管理費」、「資産運用関係費用」、「危険保険料」、「死亡保障関係費」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除費用」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

## ご注意いただきたい事項

- 「プライムライフ」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額保険)です。
- 「プライムライフ」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 <b>東京海上日動あんしん生命保険株式会社</b> ホームページ <a href="https://www.tmn-anshin.co.jp/">https://www.tmn-anshin.co.jp/</a>  ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ <b>☎ 0120-155-730</b> 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
---------	---